がじゅまる　支援プログラム
～放課後等デイサービス～

令和7年
4月21日

法人理念	自分の思いを言葉で伝える事ができるよう、一人ひとりの発達や個性に寄り添い支援を行う ～一人ひとりの「できた！」をたいせつに～		
支援方針	○個別の課題を通して、達成感を味わう…学習力 ○集団遊びを通して、社会性を育む…社会力 ○自分のことは自分でする習慣をつける…生活力		
営業時間	9:00～18:30	送迎実施の有無	有

プログラム	支援内容	5領域
生活支援	・実生活に即した生活力（あいさつ、整容、整理整頓、調理活動等）を身に付け、生活リズムの維持改善をサポートする。 ・「楽しい！」体験や気持ちを、友だち・職員と共有することで情緒の安定を図る。	健康・生活
個別活動	・主に学校の宿題への取り組みの中で、基礎的な学力の定着を促す。 ・学習面の理解向上のため、個々に応じた教材（ひらがなシート、10玉そろばん、時計盤等）の使用と支援の工夫を行う。 ・利用児童の興味関心を拡げ、認知・概念の理解を促す活動（注意や記憶の把持、数、時間、ひらがなの習得等）に取り組む。	認知・行動
集団活動	・「生きる力」の土台作りとして、生活に即した知識、技術を身に付けられるような活動に取り組む。 ・楽しみながら取り組めるプログラムを実施し、利用児童の自信（「できた！」）や意欲（「またやりたい！」）につなげる。 ・異年齢の友達と共に活動することを通して、互いの存在を認め合い、仲間作りにつなげる。 ・活動プログラムを通し、ルールの理解や感情のコントロールを促し、社会性の向上を目指す。 ・タイマーの利用や一日の流れを絵カードや文字で提示し、行動の見通しが持てるよう支援する。 ・帰りの会や活動の中で発表の場を設け、自分の考えを相手に伝える力、相手の話を聞く姿勢を育む。	人間関係 社会性 認知・行動 言語・ コミュニケーション
運動	・専門職員による個別の支援計画をもとに、発達・特性に応じたプログラムを実施する。 ・月に2回の体育館利用、公園遊び等、身体を大きく使う運動を通して身体の基盤を作る。 ・季節の制作活動や指先運動課題等に取り組む中で、手や指を使う細かな動きの向上を目指す。 ・好きな動きや感覚を見つける中で、心地良い体験を積み重ねるとともに、苦手な感覚のある利用児童には特性に応じた配慮を行う。	運動 感覚
社会体験	・公共施設の利用、買物体験や外食体験等の実体験をつみ重ね、社会のルールやマナーへの意識を高める。 ・外部講師による体験プログラムの実施	人間関係 社会性

家族支援

個々の発達や特性に配慮し、「育ち」や「暮らし」を支えていけるよう、保護者の思いに寄り添いながら支援を行う。
①利用児童に関する情報提供と定期的な支援調整を行う。
②子育ての悩みや困りごとについて、聞き取りや必要な助言を行う。
③利用児童の発達上の課題について具体的な支援の提供を行う。

移行支援

利用児童の発達や家庭での意向をアセスメントし、地域において教育等を受けられるよう支援する。
①具体的な移行を想定し、利用児童の発達や環境の評価を行う。
②移行先との間で支援に関する方針やその内容等の共有、伝達を行う。
③平行利用の場合は、利用日数や時間等の調整をしていく。

地域支援・地域連携

・他の通所支援事業との交流と情報交換　・地域連携会議への参加　・個別のケース検討のための会議
・保育所、幼稚園、医療機関、保育所、児童相談所及び家庭子どもセンター等との連携

職員の質の向上

・内部研修会の定期的開催　・外部研修会への積極的な参加

主な行事等

・夏祭りや餅つき等、季節ごとの行事活動　・誕生日会
・近隣施設や公園等、事業所外の活動の実施

がじゅまる　支援プログラム
～児童発達支援～

令和7年
4月21日

法人理念	自分の思いを言葉で伝える事ができるよう、一人ひとりの発達や個性に寄り添い支援を行う ～一人ひとりの「できた！」をたいせつに～		
支援方針	○個別の課題を通して、達成感を味わう…学習力 ○集団遊びを通して、社会性を育む…社会力 ○自分のことは自分でする習慣をつける…生活力		
営業時間	9:00～18:30	送迎実施の有無	有

プログラム	支援内容	5領域
生活習慣や生活リズムの形成 コミュニケーションの基礎的能力	・健康状態の維持や改善、基本的日常生活動作（食事・排泄・着脱等）の習得を目指し支援を行う。 ・生活リズムの形成の支援方法を考えていく。 ・特性に配慮し、利用児が見通しを持って安心して過ごせるよう配慮していく。	健康・生活
粗大運動	・身体を大きく使う運動や遊び、模倣遊び等を通して、身体の基盤を作り、日常生活に必要な移動動作の獲得を目指す。 ・身体の感覚や感触を刺激し、運動機能の発達を促す。	運動・感覚
微細運動	・楽しみながら手や指先を使う課題を通し、細かな動作の習得を目指す。（知育プリントやぬりえ、工作等） ・協調運動を取り入れた様々な動きを体験できるプログラムを組み支援する。	運動・感覚 認知・行動
個別活動	・利用児童の発達段階や得意なこと、課題に応じた計画を作成し、支援を行う。 ・個々の能力や特性に応じて、スモールステップで課題を設定し、「できた！」という成功体験を積み重ねていけるよう、きめ細かな支援を提供する。	認知・行動
小集団活動	・少人数の集団の中で、発達に応じたコミュニケーションスキルを身に付ける。 ・遊びの中で、他の児童との関わり方、集団行動のルールや社会性、感情のコントロール等、集団生活に必要なソーシャルスキルやコミュニケーション能力を培う。	人間関係・社会性 言語・コミュニケーション

家族支援

個々の発達や特性に配慮し、「育ち」や「暮らし」を支えていけるよう、保護者の思いに寄り添いながら支援を行う。
①利用児童に関する情報提供と定期的な支援調整を行う。
②子育ての悩みや困りごとについて、聞き取りや必要な助言を行う。
③利用児童の発達上の課題について具体的な支援の提供を行う。

移行支援

利用児童の発達や家庭での意向をアセスメントし、地域において教育等を受けられるよう支援する。
①具体的な移行を想定し、利用児童の発達や環境の評価を行う。
②移行先との間で支援に関する方針やその内容等の共有、伝達を行う。
③平行利用の場合は、利用日数や時間等の調整をしていく。

地域支援・地域連携

・他の通所支援事業との交流と情報交換　・地域連携会議への参加　・個別のケース検討のための会議
・保育所、幼稚園、医療機関、保育所、児童相談所及び家庭子どもセンター等との連携

職員の質の向上

・内部研修会の定期的開催　・外部研修会への積極的な参加

主な行事等

・夏祭りや餅つき等、季節ごとの行事活動
・近隣施設や公園等、事業所外の活動の実施